

## 第 24 回大阪市障がい者スポーツ大会

# ボッチャの部 実施要領(予定)

### 1. 競技規則

実施年度の「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会実施要項により行います。

### 2. 競技方法

- (1) 座位・立位・オープンの部に分かれ、個人戦で行う。試合は、1対1の個人戦を2エンドで行う。
- (2) 各部では、予選リーグ戦及びその上位者による決勝トーナメント戦を行う。ただし、参加人数の少ない部については、決勝リーグのみ行うこととする。なお、各部において、競技者が2名となった場合は、同じ対戦を2試合行い、2試合の合計で順位を決定する。順位は、1位・2位・3位を決定する。
- (3) ジャックボールを含めた各選手の投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ5分とする。
- (4) 同点時は、タイブレイク(ファイナルショット制度)で勝敗を決定する。

### 3. 用具

- (1) ボールは、個人所有のものでも、主催者が用意するボールでもかまわない。主催者が用意するボールは、招集所で試合ごとに貸し出すこととするが、複数の種類があるため、毎試合同じ種類のボールが貸し出されるとは限らない。
- (2) ボールの規定は次のとおりとし、試合前に検査することがある。ボールの不正があった場合は、無効試合とすることがある。【ボールの重量】275g±12g 【ボールの周長】270mm±8mm
- (3) ランプの使用について
  - ① ボールを投げることのできない座位選手はランプの使用が認められる。ランプは横に倒した時に2.5m×1m以内に収まる寸法で選手が準備するものとするが、用意できない場合は主催者で貸出す。
  - ② ランプを操作する人は競技に介入することは許されないが、介入しなければ競技することが困難な場合は、オープンとして参加を認める。その場合は「上記に該当しない車いす使用者」区分で申込むこと。

### 4. 招集

- (1) 会場内に設ける招集所にて、各試合開始時間の15分前に招集を行う。
- (2) 介助者は、選手と一緒に招集所で点呼を受け、ビブス着用のうえ入場すること。
- (3) 招集を完了しなかった選手は、棄権とみなすことがあるので注意すること。

### 5. 予選リーグ戦の順位決定方法及び決勝トーナメント戦進出条件

- (1) 各予選リーグ戦内の順位は次の順で決定する。
  - ① 勝った試合が多い選手
  - ② 勝ち試合が同じ場合は、直接対決で勝った選手
  - ③ ①②で決まらない場合は得失点差の多い選手
  - ④ ③で決まらない場合は総得点の多い選手
- (2) 決勝トーナメント戦には、各予選リーグ戦で1位の選手が進出する。参加者数によっては、各予選リーグ戦2位の中で1試合あたりの得失点差の多い選手が進出する場合もある。

※上記で決定しない場合は、タイブレイク(ファイナルショット制度)で決定する。

### 6. その他

- (1) 大会中のけがや病気については、応急手当を除いて主催者では一切責任を負わないので、健康と安全には各自で十分に注意すること。
- (2) ウォーミングアップコートは、次に試合のある選手が使用できる。譲り合って利用すること。
- (3) 試合終了後は、審判の指示に従い、速やかに退場すること。
- (4) 荷物は各自で管理すること。特に盗難には注意すること(更衣室等に荷物を放置しないこと)。
- (5) 会場内では決められた場所以外には立ち入らないこと。また、喫煙は決められた場所で行うこと。
- (6) 試合の応援については、2階観覧席から行うこと。